

かみす社協ニュース

発行 社会福祉 神栖市社会福祉協議会事務局(神栖市溝口1746-1) TEL 0299-93-0294(代表) FAX 0299-92-8750(代表)
ホームページ <http://www.kamisushakyo.com> メールアドレス mail@kamisushakyo.com

福祉教育出前講座

神栖社協では、学校や企業を対象に地域のサポーターの協力を得ながら“こころ”と“からだ”で感じられる「福祉教育出前講座」を実施しています。今年度は10月までに横瀬、深芝、大野原西、柳川、須田の小学校5校と神栖一中で講座を実施しました。今回は、そのうちの2校の取り組みを報告します。

神栖第一中学校【2年生】

2年生101名は、総合的な学習の時間で「手話体験」を行いました。ボランティアサークル「神栖市手話サークル虹の会」が、講師として招かれました。

聴覚障害のある方(「虹の会」メンバー)の講話では、28歳で聴覚を失ってから長い間障害を受容できなかったこと、手話と出会い再びコミュニケーションが取れるようになったことなどのお話がありました。

体験では、あいさつや五十音の指文字など、手話の基礎を学びました。手話の動作には由来があり、由来を学ぶことで親しみを感じ、覚えやすくなります。手話の成り立ちの説明を受けた児童たちは、短時間で自分の名前や年齢、家族構成などを手話で伝えられるようになりました。



手話で自己紹介「私の年齢は...」



今回学んだ手話を活かし、11月18日、市文化センターで開催される神栖市小中学校音楽発表会において、歌と手話を交えた「あすという日が」を発表します(左写真は練習風景)。虹の会代表の早田さんから児童に「皆さんと手話の勉強や交流が出来たことを嬉しく思います。発表会、頑張ってください。私たちも観に行きます。」とエールが送られました。

横瀬小学校【5年生】

横瀬小学校5年生は“ふれあい ささえあう 思いやりの心”をテーマに総合的な学習に取り組んでいます。児童100名は、車いすダンスグループ「ウィルチエアダンス研究会クアルト」を迎え、車いす利用者の講話と交流会を実施しました。講話では車いすでの買物の時、店内の狭い場所は通れず、広い通路を探したり、遠回りをしたりすることがあるなどのお話がありました。



この「車いすマーク」見たことある?と児童に質問。駐車場やトイレでこのマークを見かけたら障害者への思いやりと配慮の気持ちを持って欲しいと語りかけました。



クアルトによる車いすダンス披露の後、児童と一緒にダンスをしました。

児童からの「日常生活の中で、私たちに協力できることはありますか?」との質問に「“お手伝いしますか?”と声を掛けるのは勇気がいると思います。まずは、あいさつから始めてみませんか? 第一歩は、心のバリア(壁)を取ることです。心をバリアフリーにして、声を掛け歩み寄って欲しいです。」とクアルトの皆さんが児童に語りかけました。

お問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター
神栖本所 担当：下田 0299-93-0294 波崎支所 担当：坂本 0479-48-0294

かみす社協ニュースは皆様から寄せられた会費を使用して発行しています

赤い羽根共同募金 募金箱にあたたかい気持ちが寄せられています

赤い羽根共同募金運動が10月に全国一斉にスタートしました。神栖市における共同募金運動は、昨年に引き続き、募金箱設置協力店(平成27年度は市内233か所)で募金をお願いする「募金箱募金」を中心として実施しています。



募金箱設置店は、神栖市社協ホームページにてご案内しています。

また、社員の皆様を中心に募金していただける企業様、募金に協力して下さる行政区・自治会様を引き続き募集しています。下記までご連絡ください。

募金は、茨城県全体の福祉の充実と、地元のまちの地域福祉事業に役立てられます。金額はいくらでも結構ですので、皆様のご協力をお願いいたします。

募金箱の設置期間は12月31日までです。募金された方は赤い羽根、風船をどうぞ。

お寄せいただいた募金は、平成28年度に神栖市で実施される以下の福祉事業に活用されます

児童・青少年福祉活動

福祉教育出前講座…学校や企業で、車いす・高齢者疑似等の体験、地域の障害者・高齢者との交流によって、地域の生活者の思いを心と体で感じるための取り組みです。

高校生の進路アシストカレッジ…介護・看護職、保育者やソーシャルワーカー等の仕事に関心を持つ高校生を対象に、志望する専門職の職場を体験し、職業選択の契機となることを目的とする講座です。

高齢者福祉活動

一人暮らし高齢者の会食会…ボランティアによるおいしい食事や演芸を楽しみ、参加者同士の親睦を深められる、一人暮らしの高齢者を対象とした会食会です。

共同募金についてのお問い合わせは、茨城県共同募金会神栖市支会(神栖市社協内)まで
神栖本所 担当:名雪 電話:0299-93-0294 波崎支所 担当:篠塚 電話:0479-48-0294

第214回 地域ネットワーク勉強会のお知らせ

「精神障害者の施設入所支援 ～施設の機能と役割について～」

講師:障害者支援施設 ほびき園(かすみがうら市)
生活支援員 有澤英之氏(精神保健福祉士・社会福祉士)

11月19日(木)
午後7時00分～午後9時00分
保健・福祉会館 2階 研修室
事前申込みが必要です。

障害者の入所施設は、住まいを含む生活の場を提供し、自立した生活を送ることを目的に掃除、洗濯、服薬管理などの生活支援やスポーツ、軽作業などの活動プログラムを実施しています。

精神障害者を主な対象とする施設は、精神科病院から退院後に地域社会での生活を希望する方にとって、生活の仕方を身に付ける場となります。また、活動を通じて達成感を味わったり、自信を深めたりすることで就労支援事業所などの次のステップにつなげる役割も担っています。

今回の勉強会では、精神障害者を主に支援する障害者支援施設“ほびき園”の担当者をお招きし、利用までの流れから施設退所時のサポートなどの取り組みや支援を通して感じたことについて、お話いただきます。

医療機関の相談員や障害福祉サービス事業所スタッフといった精神障害者に関わる機会の多い支援者や障害者のご家族など、多くの方のご参加をお待ちしています。



※お申し込み・お問い合わせ先:神栖市社協 神栖本所 地域福祉推進センター 担当:三浦 0299-93-0294

私たちのまちの就労支援

株式会社ブレメン
ジョブサポートセンター就労支援事業所



【事業所データ】
 名称:株式会社ブレメン
 ジョブサポートセンター
 就労支援事業所
 住所:神栖市大野原中央4-4-36
 電話:0299-95-5710
 MAIL:bremen_1984@yahoo.co.jp
 *開所は月曜日から金曜日の
 9時から16時まで。

ジョブサポートセンター就労支援事業所は、就労移行支援^{※1}及び就労継続支援B^{※2}の多機能型事業所です。事業所の活動や運営について、代表取締役の伊藤希美さんにお話を伺いました。

伊藤さんは、県外の障害福祉サービス事業所に長年勤めていました。その事業所には、神栖市から障害のある方が多く利用していました。利用者やそのご家族などからお話を聞き、神栖市の社会資源が少ないため県外の施設等を利用する方が多くいるという状況を知りました。

神栖市の障害者が利用できる地元の社会資源が少ない、という現状を何とか改善できないものかという想いが募り、平成27年2月に株式会社ブレメンを設立し同年4月ジョブサポートセンター就労支援事業所を開所しました。

- 1 就労移行支援.....就労を希望する障害のある方に対して就労に必要な知識や能力の向上のために訓練などのサポートをするサービス
- 2 就労継続支援B型...事業所に雇用されることが困難な障害のある方に就労機会と生産活動を通じて次のステップを目指すためのサービス

ジョブサポートセンターの事業内容

就労移行支援、就労継続支援B型共に定員は10名で、送迎も行っています。現在、就労移行支援には4名、就労継続支援には2名の利用者がいます。就労移行支援の活動は、パソコンの基本操作習得をはじめとする就職に必要な能力を高める訓練が中心です。就労継続支援B型では、外注作業（ライターのラベル貼り、自動車や家具部品になるゴムの余分な部分の除去など）や縫製作業などに取り組んでいます。また、年間を通して社会見学、納涼会、クリスマス会などのイベントを開催し、障害のある方の社会参加の支援も行います。



パソコン操作を習得。スタッフが隣でレクチャーします。



ライターのラベル貼り。1枚1枚丁寧に貼っていきます



代表取締役の伊藤希美さん

「スタッフも障害当事者」が事業所の特色です

「現在、障害を抱えているスタッフが2名、他の4名の健常者と同じ様に働いています。将来は、障害者を多数雇用し、障害者が障害者を支援する“ピアサポート”を実現したいと考えています。私たち健常者では感じられない事も、当事者同士ならお互いを深く理解できます。お互いを支える・支えられる環境に身を置くことで励みになり、障害のある方の自立の近道になるのではないのでしょうか。」と伊藤さんは話します。

利用者の中には自分の生活圏に手話を使える方がおらず、孤独に悩んでいた聴覚障害のある方がいました。ブレメンには手話を使えるスタッフがいますので、コミュニケーションを重ねるごとに、その方がたくさん笑顔を見せてくれるようになりました。事業所を開設してからの、嬉しかった出来事のひとつだそうです。

伊藤さんは「これからも神栖市内の福祉サービスが充実するよう、私たちが微力ながらお手伝わせていただきたいです」と語ってくださいました。

★株式会社ブレメンの利用や問合せについては電話:0299-95-5710 担当:伊藤希美【代表取締役】まで
 ※株式会社ブレメンでは就労支援事業以外にも、居宅介護事業(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)、地域生活支援事業(日中一時支援・移動支援)などを行っています。

身近な地域で開催！11月のわくわくサロン・子育てサロン

友愛サロン	11/2(月) 溝口集落センター	わくわくサロン知手団地	11/9(月) 東町区民館
わくわくサロンはさき	11/2(月) 仲町区民館	平泉わくわくサロン	11/10(火) 平泉コミセン
わくわくサロン知手浜	11/4(水) 知手浜公民館	なごみ会	11/14(土) 高浜公民館
わくわくサロンにこにこ	11/5(木) 日川公民館	ティータイム	11/14(土) はさき生涯学習センター
わくわくサロンすこやか	11/5(木) はさき福祉センター	ふれあいサロンめだか	11/15(日) 新港公民館
お茶の間サロン笑い処	11/6(金) 小峰宅	わくわくサロン松原	11/16(月) 若ノ松区民会館
わくわくサロンあけぼの	11/6(金) 知手中央仲町公民館	ほっとサロン	11/17(火) 大野原児童館
わくわくサロン大潮	11/7(土) 明神前区民館	子育てふれあい広場ひよこ	11/19(木) 市保健・福祉会館

サロンは、家に閉じこもりがちで地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。

☆お問い合わせは 神栖市社協 神栖本所 0299-93-0294(担当:下田) 波崎支所 0479-48-0294(担当:横田)まで

つ も る 善 意 9/1~9/30受付 順不同・敬称略

- ☆寄付金預託 ☆ 合計402,641円 ●あゆみの会(ボランティアサークル)へ ●ベルマーク
- 社協の地域福祉活動へ 神栖市シニアクラブ連合会 24,727円 横瀬小学校砂山子ども会 10,000円
 - 佐藤正勝 100,000円 板寺とみ子 3,879円 石窯パン工房ディジョン 2,702円 太平ラーメン 3,247円 はさき遊漁協協議会 48,349円 シニアクラブ仲町高砂 57,540円 中山照明 10,000円
 - 使用済切手 ☆物品預託 ☆ ●使用済カード 合計897枚
 - 野中佳江 深芝保育園 イトウ輪業 旭新運送(株) 中央図書館 神栖アウトドアクラブ 茅原一美 匿名3件
 - 使用済インクカートリッジ 合計65個
 - その他
 - 神栖市シニアクラブ連合会 24,727円 横瀬小学校砂山子ども会 斎藤美保子 匿名5件
 - 土合南町内会 100,000円 鹿島共同再資源化センター(株) 匿名5件
 - 伊東ストア 2,197円 匿名2件
 - 使用済カード 合計897枚
 - 匿名4件
 - ベルマーク
 - 横瀬小学校砂山子ども会 イトウ輪業 鹿島共同再資源化センター(株) 三国屋建設(株) 鹿島石油(株)鹿島製油所 仲戸千恵子 匿名3件
 - 使用済インクカートリッジ 合計65個
 - 神栖アウトドアクラブ 茅原一美 匿名3件
 - その他
 - 仲戸千恵子(タオル16本)
 - 長谷川泰子(お米7kg)
 - サンゲツソーイングセンター(株)陸前織物(布10箱)
 - 茨城県退職公務員連盟鹿島支部神栖A・B班(タオル78本)
 - 茨城県退職公務員連盟鹿島支部波崎地区(タオル40本)
 - 匿名6件(書き損じハガキ95枚、お米120kg、洗濯用洗剤22個、タオル18本)
 - 匿名1件(神栖市母子寡婦福祉会へ未使用切手3,865円分)

お寄せいただいた寄付物品は、このように役立てられています

■使用済み切手・カード

茨城県社協に集められ、ボランティアによって仕分けされます。収集家が切手・カードを購入することで換金され、その収益金が茨城県内のボランティアサークル助成に活用されます。

■ベルマーク・使用済みインクカートリッジ

ベルマーク教育助成財団に協賛企業ごとに仕分け・集計して送るとベルマーク預金として1点が1円に換算され、学校等が必要な備品と交換できます。使用済みインクカートリッジ(エプソン、キヤノン、ブラザー純正品に限る)は、1個につきベルマーク5点となります。

神栖市では、ベルマーク仕分けボランティアが仕分け・集計を行い、東日本大震災の被災校の教材・備品の購入に役立てられています。

■書き損じハガキ

(財)日本社会福祉弘済会へ送られ切手に交換されます。協力企業がその切手を購入することで換金され「空飛ぶ車いす」活動の車いす修理部品代や輸送費となります。

「空飛ぶ車いす」は、不要になった車いすを日本各地の工業高校生が中心となって修理し、車いすが不足する国々へ贈る活動です。神栖市内では定年退職したエンジニアのよるボランティアサークル「空飛ぶ車いすin神栖」がこの活動を行っています。

茨城県台風18号等災害義援金へのご協力ありがとうございました

茨城県台風18号等災害義援金に、多くの方からあたたかいお気持ちをお寄せいただきました。神栖市社協窓口にてお寄せいただいた義援金総額259,750円(10月19日現在)は、茨城県共同募金会に送金させていただきました。義援金は平成27年11月30日まで募集していますので、皆様のご協力を引き続きお願いいたします。